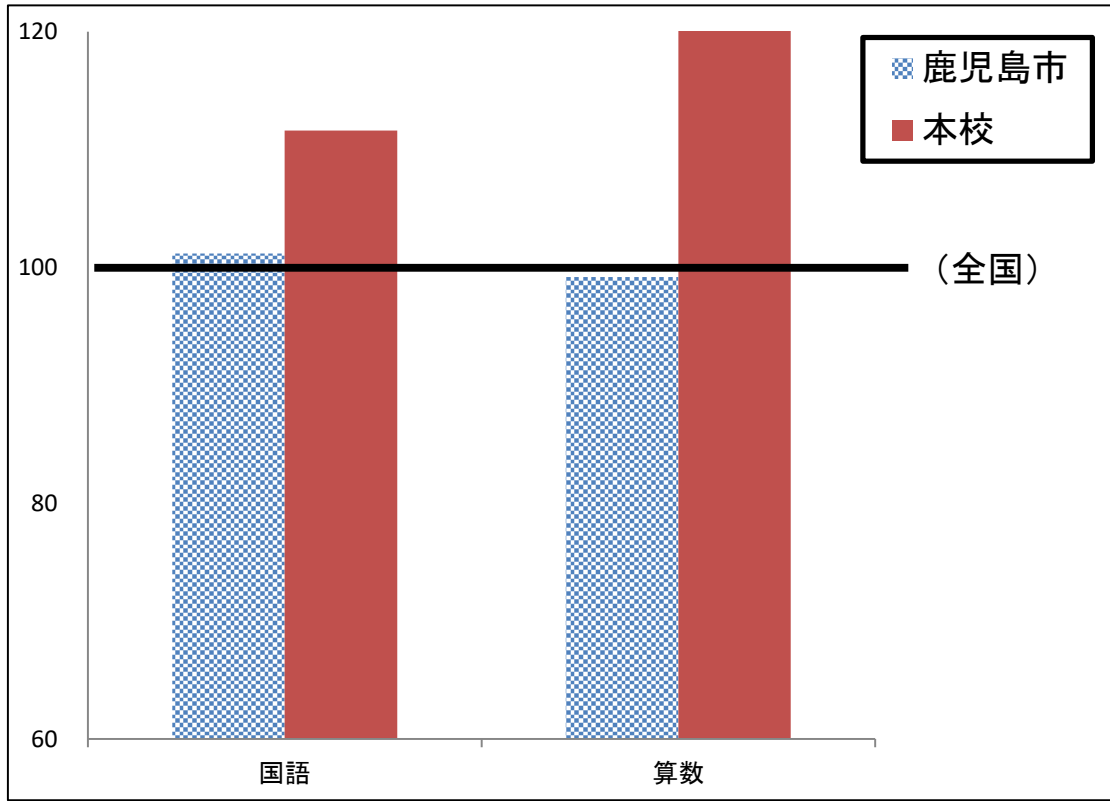


令和5年度全国学力・学習状況調査結果について
原良小学校

1 自校・市・全国の平均正答率の比較
〈 全国平均正答率を100とする棒グラフ 〉



2 自校の課題に対する改善策

<国語>

1 課題

- ・図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

2 改善策

- ・教師が、図表やグラフなどを用いたモデルとなる文章を提示することで、図表やグラフなどを用いると考えを深めやすく、相手もよく理解できる文章となることを実感できるように指導していく。
- ・授業における振り返りにおいて、情報となる友達の考えを複数活用し、まとめとなる文章を整理していく機会を多く設定する。

<算数>

1 課題

- ・示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述すること。

2 改善策

- ・特徴や傾向を捉えたり、考察したりしたことを、グラフのどの部分からどのように考えたのかを明らかにして、他者に分かるように伝えることができるように根拠を基にした指導をする。
- ・領域「データの活用」を重点化し、単元一覧に朱書きの上、指導計画の終末でアウトプットを意識して指導する。
- ・児童には、社会や理科はもちろん、タブレットのアンケート機能も活用し、主体的にデータを取り扱わせ、視覚的に触れさせ、その後文章化していく一連のデータ考察の機会を増やしていく。

<全体的に>

1 課題

- ・文章を書く力と複数の情報を整理する力(学力調査より)
- ・他者からの承認、キャリア教育、協働的な学び、ICT活用、体験活動、自己決定、外国語教育(学習状況調査児童生徒質問紙より)

2 改善策

- ・振り返りの見本を提示し、各教科における振り返りの質を向上していく。
- ・上記6つのキーワードを視点とし、日々の授業において、特に自己決定を中心とした教師の働きかけを行う。6つの視点は来年度の教育課程にも色濃く反映させる。